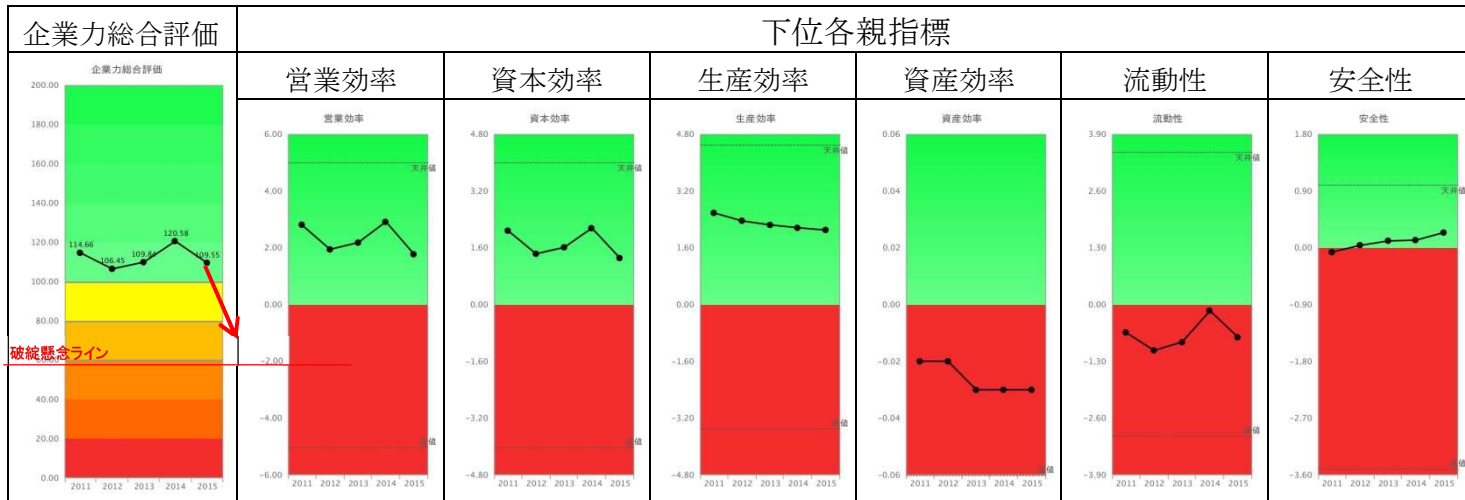


今回は、製紙業大手の王子ホールディングス株式会社（以下、王子HD株）を取り上げました。企業が事業縮小などで雇用を維持できない状況になった場合、労働者を速やかに再就職させるため、再就職支援を人材会社などに委託すると企業に支給されるのが労働移動支援助成金です。再就職支援が使命の王子HD株が、人材大手テンプレHDの子会社にリストラ指南を受け、従業員を退職に追いやり、補助金を得ていたことが問題になり、「首切りビジネス」と糾弾されました。しかし、多くの方はこのニュースをご存じないと思います。

2011 年～2015 年 3 月期までの 5 年間の分析しました。

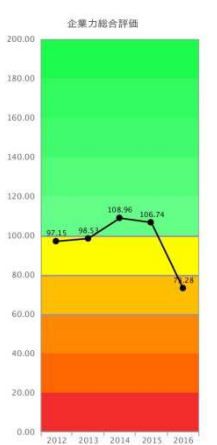


企業力総合評価は青信号領域であるも低調で、114.66P→106.45P→109.84P→120.58P→109.55P と推移しています。
 営業効率（儲かるか指標）・資本効率（資本の利用度指標）は青信号領域の真ん中を横に不安定に動いています。
 生産効率（人の利用度指標）は青信号領域にあるも 4 期連続下落しています。この指標の悪化を食い止める手法の一つが労働移動支援助成金活用ということになります。確かに従業員数は減少し、給与は減るので生産効率と営業効率が改善します。
 資産効率（資産の利用度指標）は赤信号領域です。売上に対して総資産が多いのでしょう。
 流動性（短期資金繰り指標）は、赤信号領域から出ません。
 安全性（長期資金繰り指標）は赤信号領域から青信号領域へ着実に改善トレンドです。
 1949 年 8 月創業、と社歴は長くかつ一部上場企業ではありますが、優良企業とは言えません。

民主党 HP【衆院予算委】大西議員が安倍政権の「解雇ビジネス」支援を厳しく批判から抜粋

衆院予算委員会で2月22日、大西健介議員が一般的質疑に立ち、安倍政権が「1億総活躍社会」を標榜しながら「首切りビジネス」「解雇ビジネス」への支援を拡大している問題点を追及した。
 「ある日突然上司に呼び出されて、この会社に貴方の活躍する場所はない」と言われることは、「1億総活躍社会」と真逆の状態ではないかと思うと切り出した大西議員は、製紙大手の王子ホールディングス（HD）と大手人材会社のテンプレが厚生労働省の「労働移動支援助成金」を利用して退職勧奨、事実上の退職強要をしたという22日付の『朝日新聞』に掲載された事例を取り上げた。王子HDのリストラマニュアルを示しつつ大西議員は、経営側は「合意退職」の形にする必要があるため、リストラ対象社員にどのような話法で面談を行えば違法にならないかのすれすれの指南をしていると指摘。

右の株東芝は2012～2016年3月期の第3四半期までの分析で、株東芝の直近期は不祥事の影響の序盤データと考えると下さい。
 株東芝の企業力総合評価は、97.15P→98.53P→108.96P→106.74P→73.28P と推移し、不適切会計発覚で33.46P（=73.28P-106.74P）も下落してしまいました。
 王子HD株は、株東芝と同程度下落すれば76.09Pになってしまいます（↓）。60Pが破たん懸念ラインですから、ひょっとしたら、王子HD株も厳しい経営状況となる可能性があります。
 SPLENDID21NEWS 第118号で株東芝を取り上げましたが、不適切会計は年率0.32%という微々たるインパクトであっても、信用失墜に伴うその後の経営に及ぼす影響は相当なものです。リーマンショック時のような悪化です。



以下王子HD株の有価証券報告書から抜粋しました。一番目に記載されています。

【対処すべき課題】

(1) 社会的責任の遂行（「企業行動憲章」の遵守）

当社グループは、社会との約束、人との約束を守り、企業の社会的責任を果たすことが当社グループの存立の条件であることを強く認識し、コンプライアンスの徹底を企業活動の根幹として位置づけ、全役員・全従業員が高い倫理観をもって行動するよう教育・啓蒙を図っています。
 また、環境憲章の基本理念に基づき、環境と調和した企業活動の推進に努めるとともに、安全絶対最優先の基本理念のもと、事業に関わるすべての関係者の安全衛生の確保に努めていきます。

2016年2月22日に問題が発覚しましたが、4月7日現在、HPにお詫びの言葉もありません。

下の株価チャートを見て下さい。株東芝が下落の一途なのに対し、株価はかえって上昇しています。



まとめ

問題の大きさは考慮されるべきかもしれませんが、現実の考慮は世間の注目度。これからの王子HD株は株東芝とは違った道を辿るのかもしれませんが、不祥事は社会的信用を失墜させますが、信用の失墜のダメージは、報道の多寡によります。大きなダメージは株東芝の企業体質を変える可能性があります、王子HD株はその機会を失ったのかもしれませんが。

編集後記 分析のNEWSというよりため息のNEWSになってしまいました。美しい花の季節が来たというのに・・・なぜかしら・・・(。)
文責 JY